

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年8月13日(2020.8.13)

【公開番号】特開2018-183269(P2018-183269A)

【公開日】平成30年11月22日(2018.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-045

【出願番号】特願2017-85207(P2017-85207)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月3日(2020.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技機の前面を開放状態または閉鎖状態にすることが可能な開閉部材と、

遊技の演出に用いられ、遊技者が操作可能な操作手段と、

前記操作手段の態様を制御する態様制御手段と、

前記開閉部材が開放状態である旨を報知する開放報知を行う開放報知手段とを備え、

前記操作手段への操作を受け付ける有効状態と前記操作手段への操作を受け付けない無効状態とがあり、

前記開放報知手段は、前記開閉部材が開放状態であるときに前記開放報知を行うとともに、当該開閉部材が開放状態から閉鎖状態になった後、所定期間に亘って当該開放報知を継続し、当該所定期間が経過した後、当該開放報知を終了し、

前記態様制御手段は、

前記有効状態でありかつ前記開閉部材が閉鎖状態であるときに前記操作手段の態様を第1態様に制御可能であり、

前記有効状態でありかつ前記開閉部材が開放状態であるときに、前記操作手段の態様を第2態様に制御し、当該開閉部材が開放状態から閉鎖状態になった後、前記開放報知が行われている前記所定期間に亘って当該操作手段の態様を当該第2態様に維持するよう制御し、当該所定期間が経過した後、当該操作手段の態様を第1態様に制御する、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(A)遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技機の前面を開放状態または閉鎖状態にすることが可能な開閉部材と、

遊技の演出に用いられ、遊技者が操作可能な操作手段と、

前記操作手段の態様を制御する態様制御手段と、

前記開閉部材が開放状態である旨を報知する開放報知を行う開放報知手段とを備え、
前記操作手段への操作を受け付ける有効状態と前記操作手段への操作を受け付けない無効状態とがあり、

前記開放報知手段は、前記開閉部材が開放状態であるときに前記開放報知を行うとともに、当該開閉部材が開放状態から閉鎖状態になった後、所定期間に亘って当該開放報知を継続し、当該所定期間が経過した後、当該開放報知を終了し、

前記態様制御手段は、

前記有効状態でありかつ前記開閉部材が閉鎖状態であるときに前記操作手段の態様を第1態様に制御可能であり、

前記有効状態でありかつ前記開閉部材が開放状態であるときに、前記操作手段の態様を第2態様に制御し、当該開閉部材が開放状態から閉鎖状態になった後、前記開放報知が行われている前記所定期間に亘って当該操作手段の態様を当該第2態様に維持するよう制御し、当該所定期間が経過した後、当該操作手段の態様を第1態様に制御する。

(1) 遊技を行うことが可能な遊技機(スロットマシン1、パチンコ遊技機)であつて、

遊技機の前面を開放状態または閉鎖状態にすることが可能な開閉部材(前面扉1b)と、

遊技者が操作可能な操作手段(ストップスイッチ8L, 8C, 8R、プッシュボタン)と、

前記操作手段の態様を制御する態様制御手段(BETスイッチ有効LED6aやストップスイッチ有効LED57L, 57C, 57Rなどの点灯態様を制御するサブ制御部91)とを備え、

前記操作手段への操作を受け付ける有効状態(停止操作有効状態)と前記操作手段への操作を受け付けない無効状態(停止操作無効状態)とがあり、

前記態様制御手段は、

前記無効状態であるときに、前記操作手段の態様を第1態様(消灯態様)にし、

前記有効状態でありかつ前記閉鎖状態であるときに、前記操作手段の態様を第2態様(点灯態様)にし、

前記有効状態でありかつ前記開放状態であるときに、前記操作手段の態様を前記第1態様にする(図34のタイミングt3からタイミングt4において、前面扉1bが開放しているときに、停止操作有効状態であるものの、ストップスイッチ有効LEDは消灯している)。